



新型コロナ自粛生活

副院長 黒田 琢磨



皆さんが「むさしの陽和会だより」をお読みになっている 2020 年の夏、日本を含め世界の状況はどのようになっているのでしょうか。

この文章を書いている 6 月下旬、つい数日前に COVID-19 (新型コロナ) に関連した緊急事態宣言が東京でも解除されました。

かつて SARS や記憶に新しい MERS が流行した時は、多少の緊張感があったものの正直どこか遠くの国の話のような感じがしておりました。

今回の新型コロナは、いつ自分が感染するか・いつ自分が伝播者となり他の人に感染させてしまうか、そのリスクは常にたいへん身近なものであります。国内でもすでに多くの方が犠牲となっており、やや収束傾向にはありますが依然予断を許さない状況です。



数か月前までは、このような状態になるとはほとんどの人が予測できなかった世界規模での未曾有の状況になりました。国を挙げて準備されていたオリンピックをはじめ様々なイベントも延期・中止となり、まだしばらく混乱した状況となりそうです。



約 2 か月弱にも及ぶ自粛生活では、これまで当たり前であった我々の生活も大きな変化を余儀なくされました。マスクをせずに通勤し、仕事帰りに吉祥寺で一杯やり、休日には買い物や観光地に出かける……ごく普通の生活がなんとありがたかったことか。



規制は段階的に緩和されるそうですが、今後も局所的・散発的な感染の流行は避けられないと思われます。早急なワクチンや特効薬の開発を期待しつつ、自粛が解除された後も 3 密を避けつつの手洗い励行等、自衛の生活はまだまだ続きそうです。



病院にご来院される際には、以下の感染対策にご協力ください。

●**自宅で検温を行ってください。**

発熱・体調不調の場合、診察の方は、来院時に直ちに申し出てください。診察以外の方は、来院をご遠慮ください。



●**必ずマスクの着用をお願いいたします。**

●**手指消毒をこまめに行ってください。**



※面談・面会等が必要な場合には、別に来院・来棟の規則がございますので、必ず、事前に連絡・確認の上、ご来院ください。また、来院時には健康申告書を提出していただきます。

